

3月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔平成29年3月末現在〕

平成29年4月13日
茨城県中小企業団体中央会

3月の業種別DI値を見ると、年度末の駆け込み需要等もあり、微増ではあるが、全体的に改善傾向に推移している。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標の全体DI値を見ると「景況」「収益状況」は改善、「売上高」に変化はなかった。

業種別にみると、製造業では、「景況」「収益状況」は悪化、「売上高」は改善となった。非製造業では、「景況」「収益状況」は改善、「売上高」は悪化となった。

景況DI

製造業は、前月比3.8ポイント悪化の-19.2ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント改善の-25.0ポイント、全体では、2.0ポイント改善の-22.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比3.9ポイント改善の-3.8ポイント、非製造業は、4.2ポイント悪化の-16.7ポイント、全体では、±0.0ポイントの-10.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比-3.9ポイント悪化の-23.1ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント改善の-25.0ポイント、全体では、2.0ポイント改善の-24.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成29年3月分）

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	パン	少子化による食数減少が年々著しくなり、収益確保に苦慮している。4月からは小麦粉、砂糖などの原材料の値上げも決定しているため、さらに厳しい状況になると予測される。
		味噌	
		酒	○県内課税移出数量・業界全体の現状 課税移出数量は、前年同月比91.8%と前年を下回る結果となった。しかし、特定名称酒については、年間比で見ると103.4%と引き続き増加傾向にある。普通酒は91.4%と大きく落ち込み、年間比で見ても93.8%と歯止めがかからない状況である。また、生酒については毎月好調に推移しており、新酒のスタート時期もあって前年同月比106.6%と増加。本格焼酎においては、前年同月比64.5%と大きく落ち込みをみせた。今後の動きに注視していきたい。 全国鑑評会出品研究会の結果、平成28年酒造年度の清酒製造状況は、「今年の新酒はコメの香りや味わいが出にくい傾向にあるが、当県産酒は他県に比べ良好」と判断された。 ○県内当業界について 3月から5月までの3か月間・成田国際空港ANAラウンジに於いて、試飲PRが行われ、12蔵元の銘酒が1か月毎(4蔵)に入れ替わり出品。 潮来市にて「乾杯の推進に関する条例」が可決、施行され、県内の「乾杯条例」を施行している自治体は7市(笠間市、水戸市、石岡市、結城市、常陸太田市、日立市、潮来市)となった。
		納豆	原料である大豆の価格が上昇。特に国産大豆の値上がり幅が大きく、大変厳しい状況にあるが、商品の値上げをすることは難しい。また、人手不足により人件費が上昇のみであり、全体的に収益が悪化している。
		菓子 織物 縫製	
	繊維工業	袋物	3月は年度末の駆け込み及び学校関係の生産もあり、売上、取引条件、収益ともに例年並となっており、GWまで保ってきたい。
	木材・木製品	製材	住宅需要は、ハウスメーカー物件の好調が続く一方、地場工務店の注文住宅は低調傾向にある。プレカット工場においては、工場間の格差が見受けられる。 製品荷動きは、3月に入り需要が落ちつきを見せ始め、先行き不透明感が募っている。 国産材原木は3月に入り、需要が一転し、価格が値下がりした。
		プレカット	前年同月と同様、仕事量が少ない月であった。 杉KD材は、値上げ前の価格に戻り、合板・集成材等については品薄不足が解消された。
	紙・紙加工	段ボール	売上は減少傾向、収益も悪化していることが影響し、1社廃業、1社大手の傘下となった。原材料の古紙が中国からの引き合いに伴い、急激に高騰しており、値上げの話もでている。
	印刷	軽印刷 総合	
	化学・ゴム	プラスチック製品 石材	
	窯業・土石製品	コンクリート製品	
		焼物	気候が温かくなり、人の流れが活発になってきた。気を引き締めて、春の行楽シーズンに臨みたい。
	鉄鋼・金属	鍍金	前年同様、年度末の需要については二極化の傾向である。業種としては、重電機・電子機器等の部品を扱っている企業は低調、建築・住宅関連の部品を扱っている企業は好調であり、自動車関連部品・建機類は得意先によって景況が大きく左右される結果となった。 金属材料(銅、ニッケル、亜鉛等)は徐々に値上がりし、工業薬品等については、大きな価格の変動はなかった。貴金属関係の材料については、価格が高止まりしている。
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月比で増加7社、全体増減率120%となった。 得意先の内外向けトラクタ、エンジンの増産、およびコンバインの作りだめが加わり、全組合員の売上が増加した。全体で、3月の売上高は、過去5年間で最高の売上を記録した。受注の増加は、8月まで見込める状況である。 雇用面では、正社員への応募は少なく、人員不足となっているため、臨時工の採用増加で対応している。
	電気機器	重電	
		電化機器	当月の生産高は前年同月比で19%のプラス。そのほとんどが自動車関連事業所となっており、家電関連は依然として上昇が見られず大変厳しい状況である。
	輸送機器	自動車部品	全体的にやや明るさが見られたが、組合員企業間の格差も目立った。先行きはやや不透明なままで推移している。
		昇降機	
	その他の製造業		

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成29年3月分）

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比で1.48%の減少。3月末に決算を迎え、在庫屯、在庫屯が調整されたことにより、冷蔵庫収入は減少となった。
		県南地区卸売	日用品雑貨の売上は減少。他業種は売上高増加傾向にある。
		食品 卸売業	3月は野菜果実合計で前年同月比97%の取扱高となった。2月に引き続き、安定した天候となったため、前年に比べると単価安となったが、例年と比べると、単価高となった品目も多く、売れ行きが伸び悩む状況となった。
		セメント	袋セメントの出荷袋数は、前年同月比で約5%の減少となったが、前月比でみると約8%の増加となった。年度末の公共工事の増加によるものと思われる。
	小売業	県北地区 共同店舗	売上高前年比91.6%、客数96.2%。21店舗中9店舗が前年を上回る結果となった。
		県央地区 共同店舗	売上高の前年同月比は、全体で95%。婦人衣料が2店舗開店した結果、既存店では100%を維持することができた。4月には、飲食店舗が2店舗開店するのでGWの飲食需要に応えたい。
		県南地区 共同店舗	天候不順の影響か、衣料、服飾が苦戦。特に婦人服は春物が全く伸びず、前年同月比85%と大苦戦を強いられた。後半、春休みに入っても天候に恵まれなかったが、店内アミューズ施設は好調に推移した。
		クレジット	
		家電	春商戦がスタートし、顧客訪問等を実施しているが、反応は少なく、不調である。収益性を重視すれば、価格面で客が離れ、なかなか販売につながらない月となった。
		石油	ガソリンの販売価格は円安により、前年同月比で21円の上昇となっているが、元売販売子会社や大手広域業者等による、一般組合員の仕入値を下回るような安値販売競争が続いており、収益状況は改善されていない。
		農機具	
		中古車	年度末のオークションは盛況で売上は増えたが、単価は変わらず。少しずつではあるが、景況はよくなりつつある。
	商店街	水戸 筑西 総合	
		電気工事	年度末に脱会者が4社、譲渡加入が3社。後継者不足が大きな原因となっている。
	建設業	管工事	
		交通安全施設業	
		鉄筋	
	サービス業	ホテル・旅館	各エリアとも前年より数字を伸ばしているが、宴会に関しては、企業姿勢が反映され減少している。水戸エリアは観梅時期となる繁忙期、販売単価を上げてほぼ満室となった。他エリアでは、団体客はやや減少しているものの、個人客が上向きであり、現段階では、ハッキリ断言できないものの、圏央道開通の効果が微増であるが見えて来たようである。
		自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の前年同月比は、普通車は微増、軽自動車は減少となった。 普通車： 102.3% 軽自動車： 98.9%
	運輸業	貨物軽自動車運送	組合員数は118名、車両台数は151台。前月比で1名減少、3台減車。
		県北地区 一般貨物自動車運送	主要顧客の動向は横這いになるも、荷動きが低調で売上高は減少。また、燃料価格が値上がり傾向であり、収益は厳しい状況にある。
	その他の非製造業		

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	酒	平成29年10月21日、日本酒造組合中央会主催の「日本酒で乾杯推進会議茨城大会」の開催決定。行政当局、各種団体からの協力を願いたい。
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。

月次景況調査 3月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	3月	2月	前月比	3月	2月	前月比	3月	2月	前月比
景 況	▲ 22.0	▲ 24.0	2.0	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 3.8	▲ 25.0	▲ 33.3	8.3
売 上 高	▲ 10.0	▲ 10.0	0.0	▲ 3.8	▲ 7.7	3.9	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 4.2
収 益 状 況	▲ 24.0	▲ 26.0	2.0	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 3.9	▲ 25.0	▲ 33.3	8.3
販 売 価 格	▲ 8.0	0.0	▲ 8.0	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 4.2	8.3	▲ 12.5
取 引 条 件	▲ 8.0	▲ 2.0	▲ 6.0	▲ 11.5	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 4.2	0.0	▲ 4.2

中小企業月次景況調査(平成29年3月)DI値(前年同月比)

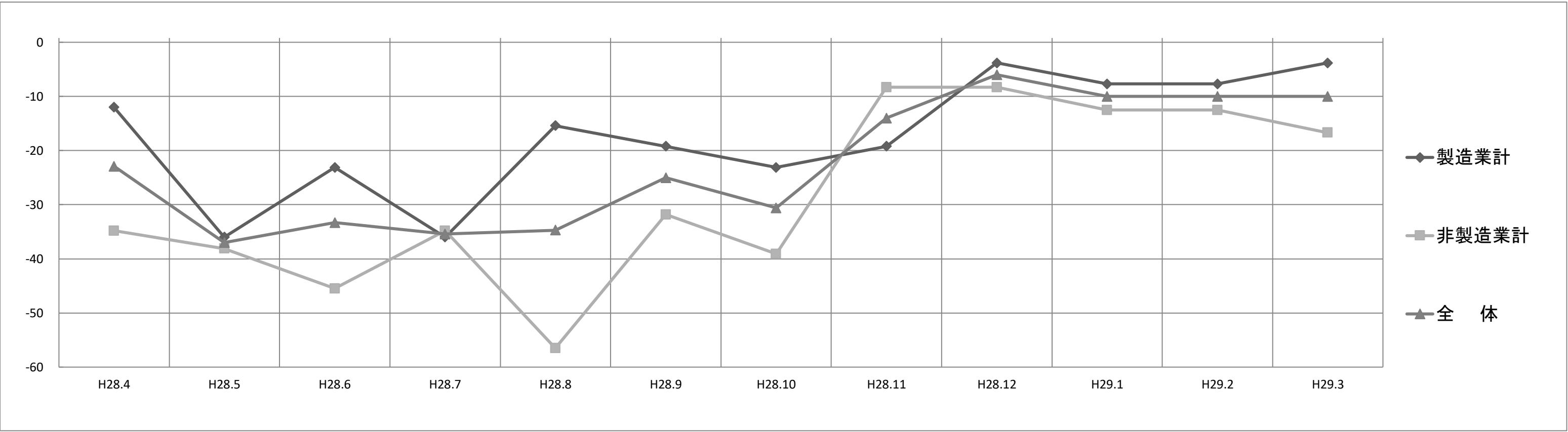
		売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況												
		D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)													
			増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数						
製 造 業	食 料 品	0.0	1	4	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	0.0	1	4	1	6
	繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3
	木材・木製品	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4
	鉄鋼・金属	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	一般機器	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2
	電気機器	0.0	1	0	1	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	輸送機器	0.0	1	0	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2
	製造業計	△ 3.8	6	13	7	26	△ 3.8	2	21	3	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 23.1	2	16	8	26	△ 7.7	1	22	3	26	7.7	4	20	2	26	3.8	1	25	0	26	△ 19.2	1	19	6	26
非 製 造 業	卸 売 業	△ 100.0	0	0	4	4	0.0	1	2	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4	0.0	0	4	0	4					△ 25.0	0	3	1	4	△ 50.0	0	2	2	4	
	小 売 業 (商店街含む)	0.0	4	3	4	11	△ 18.2	0	9	2	11	0.0	2	7	2	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 36.4	0	7	4	11	△ 36.4	0	7	4	11					△ 18.2	0	9	2	11	△ 36.4	0	7	4	11	
	サービス業	100.0	2	0	0	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	100.0	2	0	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0					0	2	0	2	100.0	2	0	0	2		
	建 設 業	△ 20.0	1	2	2	5					△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	1	2	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0					0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運 輸 業	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0					0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	非製造業計	△ 16.7	7	6	11	24					△ 13.3	1	11	3	15	△ 4.2	3	17	4	24	△ 4.2	0	23	1	24	△ 25.0	3	12	9	24	△ 25.0					0	18	6	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 25.0	2
全 体		△ 10.0	13	19	18	50	△ 7.3	3	32	6	41	△ 8.0	3	40	7	50	△ 8.0	0	46	4	50	△ 24.0	5	28	17	50	△ 16.0	1	40	9	50	7.7	4	20	2	26	△ 4.0	1	46	3	50	△ 22.0	3	33	14	50

D I 値推移表（H28.4月 ～ H29.3月期）

《売上高の推移》

前年同月比	H28.4	H28.5	H28.6	H28.7	H28.8	H28.9	H28.10	H28.11	H28.12	H29.1	H29.2	H29.3
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 10.5	▲ 31.6	▲ 30.0	▲ 47.4	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 10.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0
製造業計	▲ 12.0	▲ 36.0	▲ 23.1	▲ 36.0	▲ 15.4	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 3.8
卸売業	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0
小売業（商店街含む）	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 80.0	▲ 40.0	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 18.2	0.0	18.2	0.0
サービス業	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	100.0
建設業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 20.0	0.0	▲ 50.0	▲ 40.0	0.0	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 34.8	▲ 38.1	▲ 45.5	▲ 34.8	▲ 56.5	▲ 31.8	▲ 39.1	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 16.7
全体	▲ 22.9	▲ 37.0	▲ 33.3	▲ 35.4	▲ 34.7	▲ 25.0	▲ 30.6	▲ 14.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0

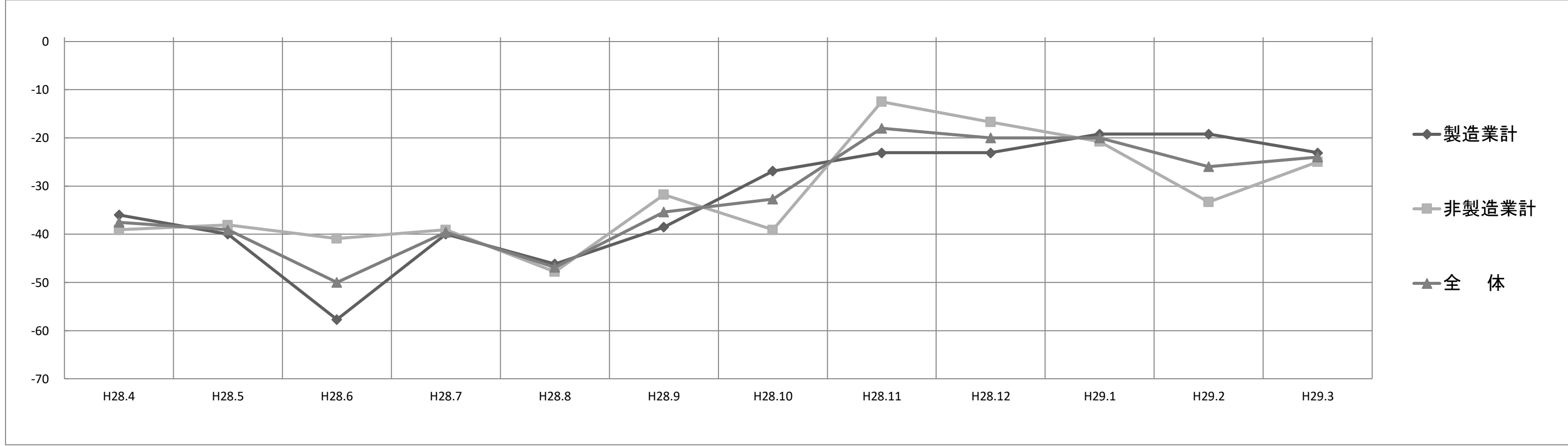
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H28.4	H28.5	H28.6	H28.7	H28.8	H28.9	H28.10	H28.11	H28.12	H29.1	H29.2	H29.3
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 31.6	▲ 42.1	▲ 60.0	▲ 57.9	▲ 55.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
製造業計	▲ 36.0	▲ 40.0	▲ 57.7	▲ 40.0	▲ 46.2	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 23.1
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0
小売業（商店街含む）	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 70.0	▲ 45.5	▲ 70.0	▲ 40.0	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 36.4
サービス業	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	100.0
建設業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 39.1	▲ 38.1	▲ 40.9	▲ 39.1	▲ 47.8	▲ 31.8	▲ 39.1	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 33.3	▲ 25.0
全体	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 50.0	▲ 39.6	▲ 46.9	▲ 35.4	▲ 32.7	▲ 18.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 26.0	▲ 24.0

《収益推移グラフ》

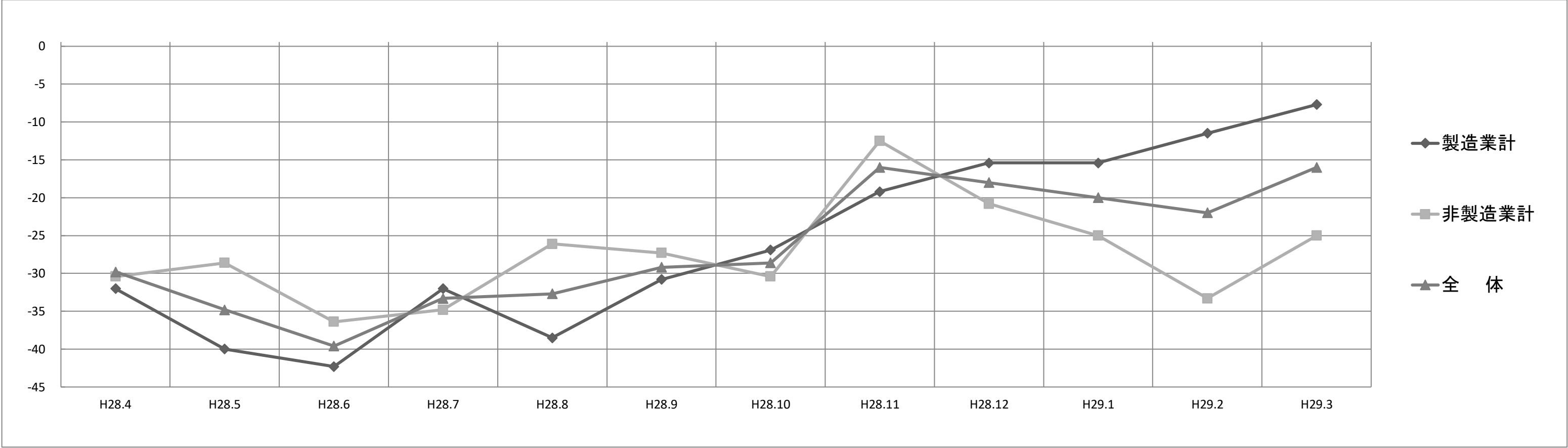


D I 値推移表（H28. 4月 ～ H29. 3月期）

《資金繰りの推移》

前年同月比	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9	H28. 10	H28. 11	H28. 12	H29. 1	H29. 2	H29. 3
食料品製造業	▲ 33. 3	▲ 33. 3	▲ 33. 3	0. 0	▲ 16. 7	▲ 16. 7	▲ 33. 3	▲ 16. 7	0. 0	0. 0	▲ 16. 7	0. 0
製造業（食料品製造業以外	▲ 31. 6	▲ 42. 1	▲ 45. 0	▲ 42. 1	▲ 45. 0	▲ 35. 0	▲ 25. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 10. 0	▲ 10. 0
製造業計	▲ 32. 0	▲ 40. 0	▲ 42. 3	▲ 32. 0	▲ 38. 5	▲ 30. 8	▲ 26. 9	▲ 19. 2	▲ 15. 4	▲ 15. 4	▲ 11. 5	▲ 7. 7
卸売業	▲ 25. 0	▲ 25. 0	0. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	0. 0	50. 0	0. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	0. 0
小売業（商店街含む）	▲ 45. 5	▲ 45. 5	▲ 60. 0	▲ 45. 5	▲ 40. 0	▲ 40. 0	▲ 54. 5	▲ 36. 4	▲ 36. 4	▲ 27. 3	▲ 45. 5	▲ 36. 4
サービス業	0. 0	0. 0	▲ 50. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
建設業	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 20. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0
運輸業	0. 0	0. 0	0. 0	▲ 50. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0
非製造業計	▲ 30. 4	▲ 28. 6	▲ 36. 4	▲ 34. 8	▲ 26. 1	▲ 27. 3	▲ 30. 4	▲ 12. 5	▲ 20. 8	▲ 25. 0	▲ 33. 3	▲ 25. 0
全体	▲ 29. 8	▲ 34. 8	▲ 39. 6	▲ 33. 3	▲ 32. 7	▲ 29. 2	▲ 28. 6	▲ 16. 0	▲ 18. 0	▲ 20. 0	▲ 22. 0	▲ 16. 0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9	H28. 10	H28. 11	H28. 12	H29. 1	H29. 2	H29. 3
食料品製造業	0. 0	▲ 33. 3	▲ 16. 7	0. 0	▲ 16. 7	▲ 16. 7	▲ 16. 7	▲ 16. 7	16. 7	0. 0	0. 0	0. 0
製造業（食料品製造業以外	▲ 26. 3	▲ 36. 8	▲ 45. 0	▲ 47. 4	▲ 35. 0	▲ 40. 0	▲ 40. 0	▲ 30. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 20. 0	▲ 25. 0
製造業計	▲ 20. 0	▲ 36. 0	▲ 38. 5	▲ 36. 0	▲ 30. 8	▲ 34. 6	▲ 34. 6	▲ 26. 9	▲ 15. 4	▲ 19. 2	▲ 15. 4	▲ 19. 2
卸売業	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	▲ 50. 0	▲ 25. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0
小売業（商店街含む）	▲ 63. 6	▲ 45. 5	▲ 60. 0	▲ 54. 5	▲ 70. 0	▲ 50. 0	▲ 72. 7	▲ 45. 5	▲ 36. 4	▲ 27. 3	▲ 45. 5	▲ 36. 4
サービス業	0. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	100. 0	0. 0	0. 0	50. 0	100. 0
建設業	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 40. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 40. 0	▲ 20. 0	▲ 60. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0
運輸業	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0
非製造業計	▲ 47. 8	▲ 42. 9	▲ 45. 5	▲ 43. 5	▲ 52. 2	▲ 40. 9	▲ 52. 2	▲ 25. 0	▲ 33. 3	▲ 29. 2	▲ 33. 3	▲ 25. 0
全体	▲ 31. 9	▲ 39. 1	▲ 41. 7	▲ 39. 6	▲ 40. 8	▲ 37. 5	▲ 42. 9	▲ 26. 0	▲ 24. 0	▲ 24. 0	▲ 24. 0	▲ 22. 0

《景況推移グラフ》

